

道総研ランチタイムセミナー

あなたは生き残れるか？

阪神・淡路大震災に学ぶ住まいの防災対策のススメ

2011年1月17日

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
建築研究本部 南 慎一

内 容

1. 阪神・淡路大震災の教訓
2. 建物で身を守る
3. 室内で身を守る
4. 自分の身を守る
5. 地域ので身を守る

* 1月17日 「防災とボランティアの日」

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の際に全国、世界から130万人以上のボランティアが集まり、食料や物資の配布などの支援活動が行われた。これを記念してこの日が定められた。

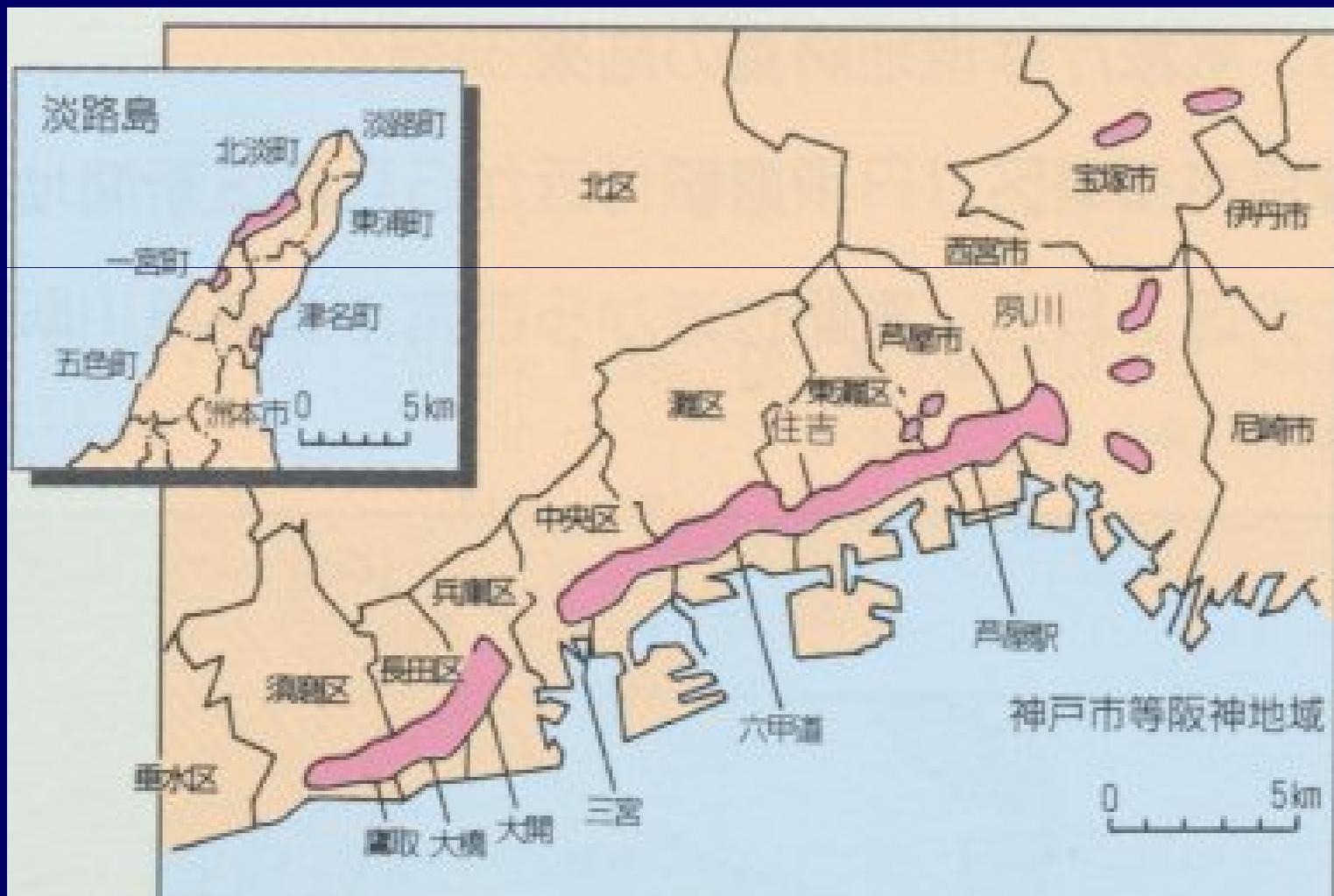
阪神・淡路大震災の教訓

発生日時 : 平成7年1月17日 午前5時46分

震源 : 淡路島北部

震源の深さ: 約16km

規模: マグニチュード7.3

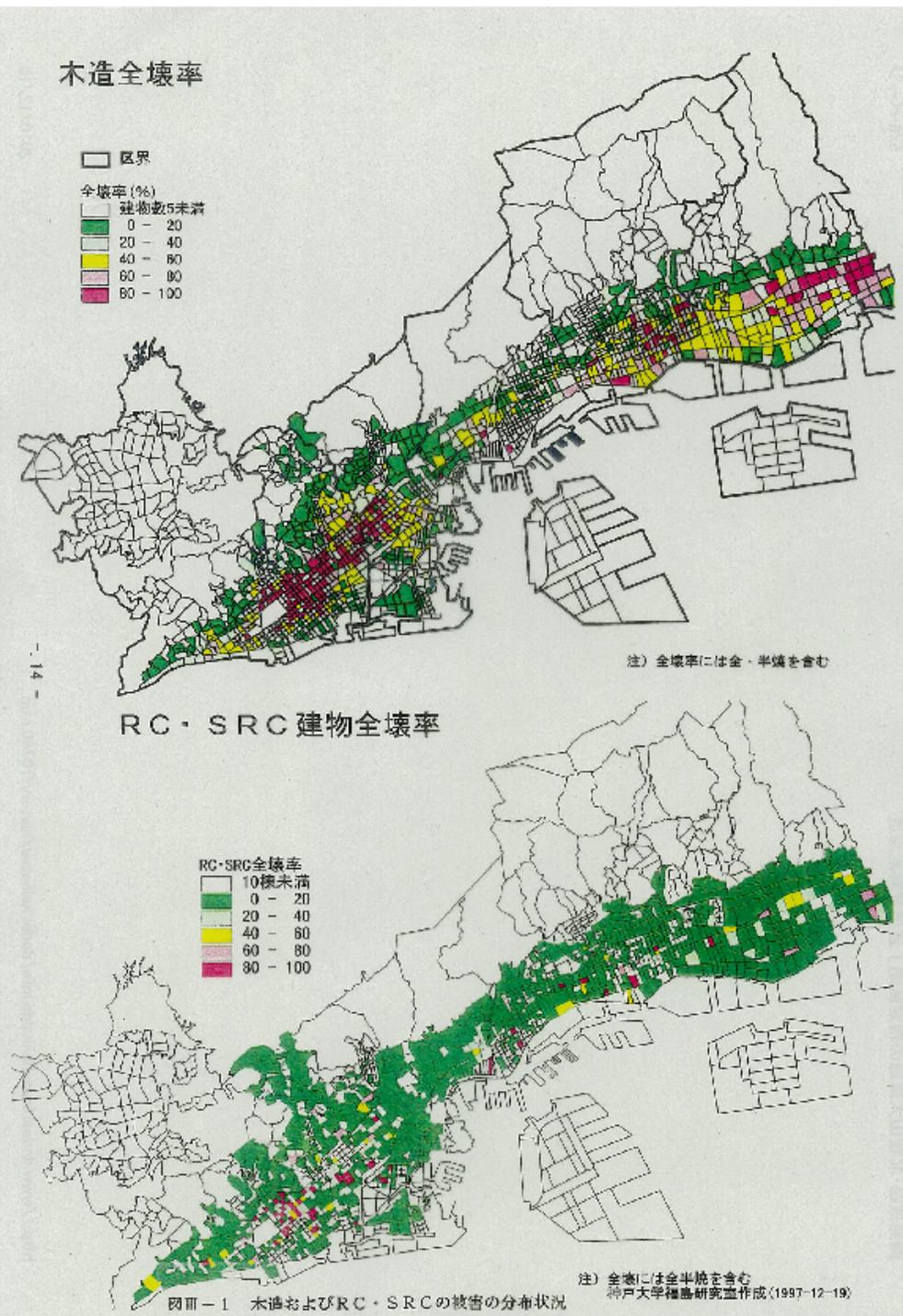


平成7年兵庫県南部地震被害の概要

- ・死者行方不明者 6,437名
- ・負傷者 43,792名
- ・住家被害合計 512,882棟
(うち住家全壊 104,906棟)
- ・焼損住家被害合計 6,558棟
(うち 全焼 6,148棟)
- ・・・消防庁まとめ・・・

- ・停電 260万戸
- ・断水 約130万戸
- ・ガス供給停止 約86万戸
- ・下水道 被害260km
- ・電話 47万8千回線

被害総額 9兆9,268億円
・・・兵庫県推計・・・



木造住宅の被害



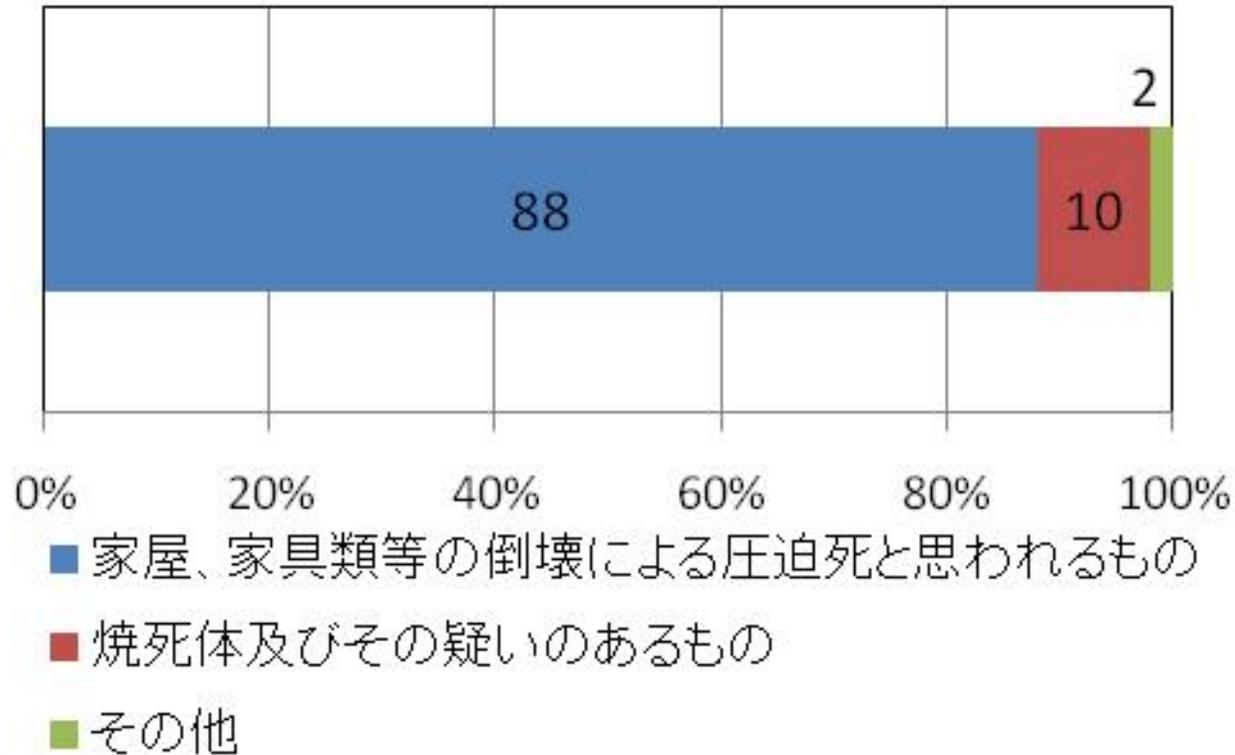
建物の被害



市街地火災

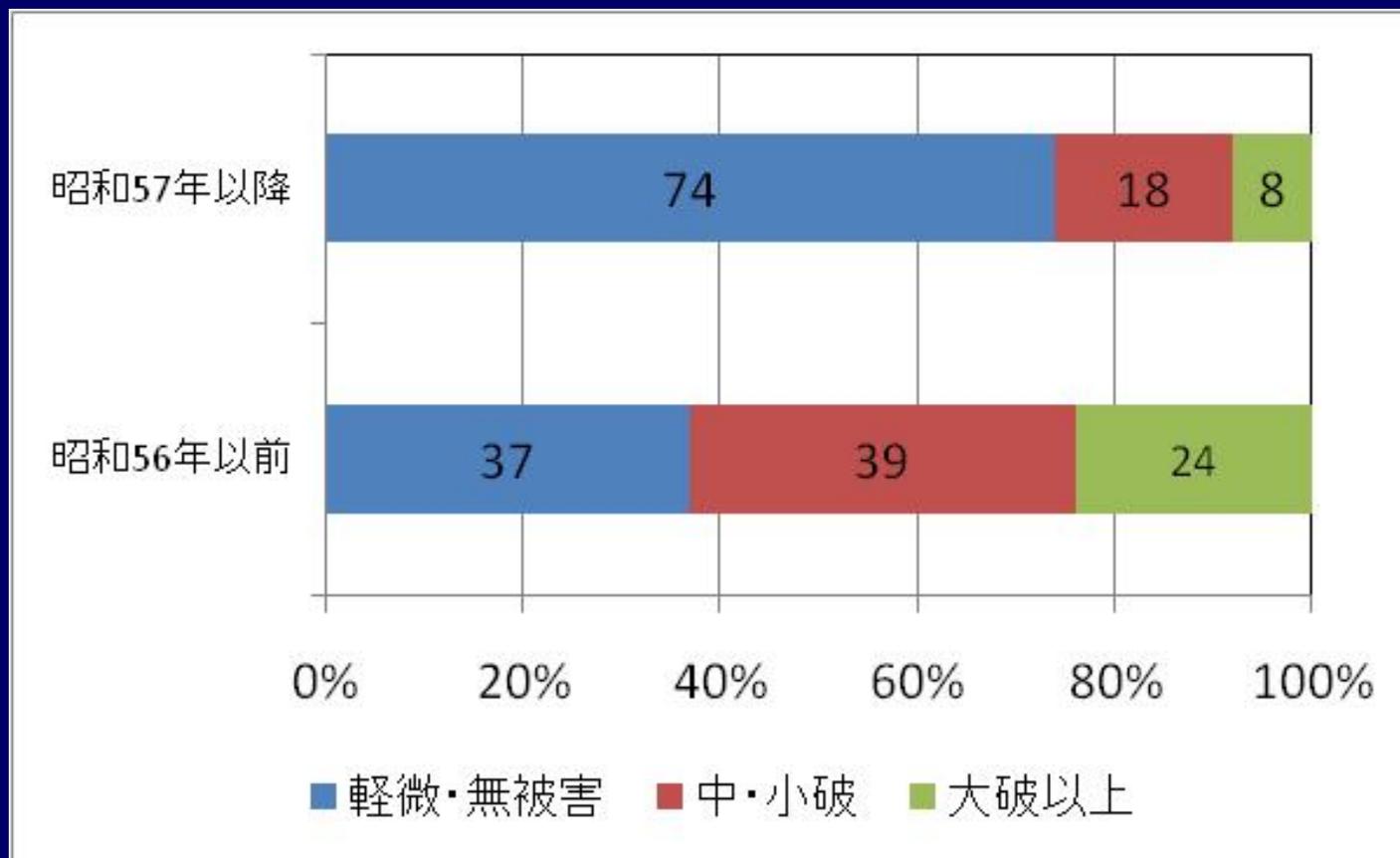


阪神・淡路大震災の教訓 1



◆神戸市内の犠牲者のうち家屋・家具等の倒壊による圧死と思われるもの4,831名(88%) <平成7年度版「警察白書」>

阪神・淡路大震災の教訓 2



昭和56年(1981年)以前の建築物に大きな被害が集中している。

注1)昭和56年:新耐震設計法に基づく耐震基準の改正

注2)北海道の昭和56年以前の木造戸建て住宅:約38%〈H20住宅土地統計調査〉

阪神・淡路大震災の教訓 3

芦屋市の救出記録

1日目 82人 うち生存者60人

2日目 22人 5人

3日目 19人 0人

* 生存者65人の2割は市職員、ほか8割は家族や近所の人による。